

本電話機は、電池カバーをしっかりと取り付けた状態で、IPX4(※)相当の防水性能(当社試験方法による)を有しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

※IPX4とは、JIS指定のノズルを使用し、30～50cmの距離から約10リットル/分の水を5分間あらゆる方向から散水しても、電話機としての機能を有することを意味します。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合、保証の対象外となります。

■ 本電話機をお使いになるときの注意事項について

本電話機の防水性能を維持するために、以下の点に注意してください。

- 電池カバーをしっかりと取り付けてください。電池カバーの間に細かいゴミ(微細な繊維・砂・毛髪など)が挟まると電話機内部に水が入る原因となります。
- 本電話機の防水性能は、常温の真水および水道水にのみ対応しています。
- 常温の真水・水道水以外の液体(石けん・洗剤・入浴剤・温泉・熱湯・冷水・アルコールなど)をかけないでください。
- 蛇口やシャワーなどの水流を当てないでください。
- 受話口・送話口・スピーカ口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。(裏面参照) また、先の尖った物でつかないでください。
- 本電話機が水に濡れた場合はそのまま放置せず、なるべく早く乾いたやわらかい布などでふき取ってください。また、電池カバーが濡れた場合は、すぐに乾いたやわらかい布などでふき取ってから取り付けてください。濡れたままの状態で使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本電話機が濡れているときや手が濡れている場合は、電池カバーの開閉をしないでください。
- 濡れたまま0℃以下になる場所に放置しないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所への移動は、本電話機が常温になってから行ってください。
- 充電器、電池パックは防水対応ではありません。水がかかるような場所や湿気の多い場所では使用しないでください。
- 本電話機を落としたり、強い衝撃が加わった場合は、防水性能を維持できない場合がありますので、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。または岩崎通信機お客様相談センタにご相談ください。
- ご使用状況にもよりますが、防水性能を維持するために、本体と電池カバーのゴムパッキンは、異常の有無にかかわらず1年を目安に交換することをお勧めいたします。ゴムパッキンの交換は有償にて承ります。詳しくは、お買い求めの販売店または岩崎通信機お客様相談センタにお問い合わせください。

■ 本電話機を充電するときの注意事項について

充電器は防水対応ではありません。本電話機を充電するときには以下の点に注意してください。

- 本電話機が濡れているときは絶対に充電しないでください。
- 本電話機が濡れているときに充電する場合は、乾いたやわらかい布などでふき取ってから充電してください。
- 充電器は濡れた手で触れないでください。

■ 電池カバーについての注意事項

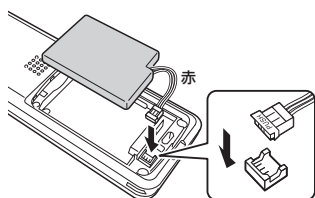
電池カバーは、本電話機の防水性能を維持するための重要な部分となりますので、以下の点に注意してください。

- 電池カバーを取り付ける場合は、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。
- 電池カバーをしっかりと取り付けてください。電池カバーの間に細かいゴミ(微細な繊維・砂・毛髪など)が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーは、ねじるなどして変形させたり、穴を開けたりしないでください。すきまができると電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーのすきまに物を差し込まないでください。電池カバーやゴムパッキンが損傷し、電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーのゴムパッキンを取り外したり、傷つけたりしないでください。電話機内部に水が入る原因となります。
- 電池カバーやゴムパッキンが変形したり損傷した場合は、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。または岩崎通信機お客様相談センタにご相談ください。

■ 電池パックおよび電池カバーの取り付け方法について

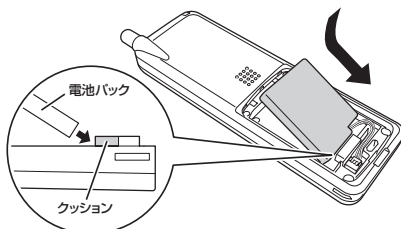
① 同梱の電池パックを持ってコネクタを差し込む。

- 電池パックのコネクタを本体のコネクタにあわせた後、PUSHの場所を押して差し込んでください。



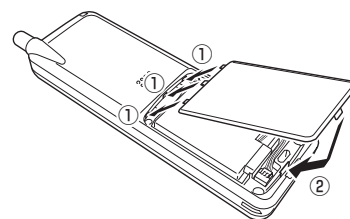
② 電池パックを電話機にセットする。

- 図のように、ななめ上から電池パックをクッションに押し当てながらセットします。



③ 同梱の電池カバーを取り付ける。

- 電池カバーのツメを本体に差し込み(①)、本体と電池カバーの間にすき間ができないように上から押さえます。(②)

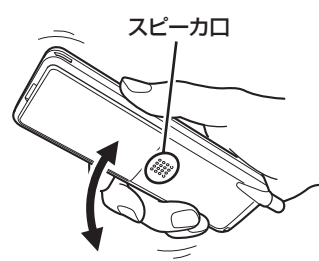
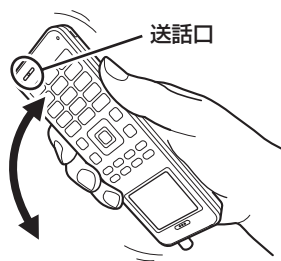


●電池パックのケーブルを電池カバーではさみ込まないように注意してください。

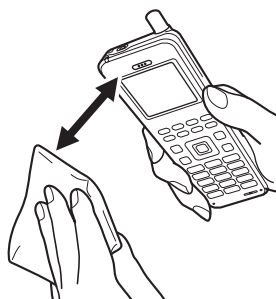
■ 水抜きについて

本電話機が水に濡れたときは、以下の手順で「イヤホンマイク差し込み口」「受話口」「送話口」「スピーカ口」の水抜きを行ってください。濡れたまま使用すると通話不良の原因となったり、イヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。

- ① 電源を切る。
- ② 本電話機の表面の水分を乾いたやわらかい布などでふき取る。
- ③ 本電話機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る。



- ④ 「イヤホンマイク差し込み口」「受話口」「送話口」「スピーカ口」やボタン周りの水分を乾いたやわらかい布などを軽く押し当ててふき取る。



- ⑤ 常温でしっかり乾燥させる。

- 「イヤホンマイク差し込み口」「受話口」「送話口」「スピーカ口」に綿棒などを押し込んだりしないでください。また、電話機の表面を布などでふく場合は、強く押し当てないでください。
- 水分をふき取った後に電話機内部に水分が残っている場合は、使用中に水が染み出ることがありますのでご注意ください。
- ハンドストラップが濡れている場合は、ハンドストラップもしっかり乾燥させてください。